



市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

質問項目一覧 (通告順)

スマートフォンなどをお持ちの方は、氏名の下のQRコードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

- 加藤 利江・・・P 9
 - ・上柴地区、そして深谷市、そして県北地域の子も達のために
 - ・旧中仙道通り商店街の活性化
 - ・柴崎公園周辺の道路
- 五間 くみ子・・・P 12
 - ・公立学童保育室
- 鈴木 三男・・・P 15
 - ・新型コロナウイルス感染対策
 - ・少人数学級
- 村川 徳浩・・・P 12
 - ・原郷上野台線アンダーパス
- 福島 秀樹・・・P 15
 - ・ゼロカーボンシティふかや宣言
 - ・中宿歴史公園
- 今井 慶一郎・・・P 13
 - ・行政情報化推進事業
 - ・区画整理事業
 - ・交通安全施設整備管理事業
- 三田部 恒明・・・P 16
 - ・図書館衛生面強化
 - ・コロナ後の地方創生へ
- 馬場 茂・・・P 13
 - ・農業振興
- 湯本 哲昭・・・P 16
 - ・ケアラー支援制度
- 茂木 一郎・・・P 14
 - ・ゼロカーボンシティ宣言
- 永田 勝彦・・・P 17
 - ・深谷市への来訪者へ「歴史」「食と観光」コースの作成
- 佐久間 奈々・・・P 14
 - ・生活保護
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大を受けて
 - ・花園IC拠点整備プロジェクト
- 中矢 寿子・・・P 10
 - ・補助金等
 - ・ふっかちゃんラッピングカー
- 柴崎 重雄・・・P 10
 - ・新型コロナウイルス感染
 - ・渋沢栄一翁顕彰
- 清水 健一・・・P 11
 - ・スマートシティ深谷の実現
 - ・元気で笑顔の生産地ふかやの実現
- 武井 伸一・・・P 11
 - ・論語の里

請願の審査結果

▼請願第5号 (不採択)
 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書の提出を求める請願

反対討論

原水爆禁止深谷協議会
 赤尾 章紀
 ほか17名

唯一の戦争被爆国である日本が、核兵器禁止条約に、署名・批准しない理由は2つある。①核保有国が参加しないことである。保有国が核兵器を減らさなければ廃絶に至らず、実現性に疑問がある。②日本を取り巻く厳しい安全保障環境がある。国民の生命と財産を守るためには、日本の防衛力だけでは対処できず、米国の頼らざるを得ない。長期的には核抑止に代わる解決策を模索すべきだが、現状では日本は米国の核抑止力を否定できない。こうした背景があることを私たちは知るべきである。唯一の戦争被爆国であると同時に、米国の核の傘にあるという矛盾した現実の政府が担う役割は、核兵器国と非核兵器国との間の「真の橋渡し役」として、核抑止を巡る建設的な議論を促していくことである。請願文書中の「日本政府は、核兵

賛成討論

五間 くみ子

器禁止条約に反対し続けている」との文言は、あたかも、政府が禁止条約に署名・批准しないことは、禁止条約そのものを否定していることとられかねない。政府は、核兵器禁止条約の発効で、日米安全保障条約を堅持しつつも、核兵器のない安全保障基盤を模索する契機としていくべきであり、中長期的には、日本が署名・批准できる環境を作り出していくべきである。

核兵器禁止条約は、一部の核保有国に核の保有を容認する核不拡散条約とは大きく異なり、核兵器を完全に廃絶することを目指し、核兵器は「違法」であるとした史上初の条約である。まだ根強く「核の傘」の必要論があるが、核による抑止という考え方は、いざとなれば核攻撃をするという威嚇であり、それは広島・長崎のような破滅的で凄惨な被害を容認するものである。今回、核の持つ非人道性が国際社会で周知のものとなり条約の発効に至った。現在は核の持つ非人道性を考え安全保障とは何かを具体的に想像しながら議論を進める段階に来ている。またこの条約発効は、核廃絶に向けてのスタートだということである。総務委員

賛成討論

核兵器禁止条約は、一部の核保有国に核の保有を容認する核不拡散条約とは大きく異なり、核兵器を完全に廃絶することを目指し、核兵器は「違法」であるとした史上初の条約である。まだ根強く「核の傘」の必要論があるが、核による抑止という考え方は、いざとなれば核攻撃をするという威嚇であり、それは広島・長崎のような破滅的で凄惨な被害を容認するものである。今回、核の持つ非人道性が国際社会で周知のものとなり条約の発効に至った。現在は核の持つ非人道性を考え安全保障とは何かを具体的に想像しながら議論を進める段階に来ている。またこの条約発効は、核廃絶に向けてのスタートだということである。総務委員

▼請願第6号 (採択)

深谷市におけるパートナーシップ認証制度および性的少数者に関する諸問題への取組みに関する請願
 レインボーさいたまの会

代表 加藤 岳
 ほか1名

賛成討論

性的少数者の皆様は、家族など身近な人に打ち明けられない悩みの大きさを痛感されている。性的少数者に関する全国意識調査を実施したが、その結果、当事者に対して、抵抗感を抱く人が減少しており、社会的な理解が広がっている。ただ、当事者が容易には打ち明けら

れないケースも多く更なる啓発が重要である。パートナーシップ制度創設は、多様な性を尊重するという自治体のメッセージであり、生きづらさを解消する第一歩となる。誰一人取り残さないというSDGsの理念にも合致しているパートナーシップ認証制度は、多様性を認める共生社会の構築という点で、深谷市においても、関係者にとっても大きな希望となることから、できるだけ早い時期に導入すべきであり、施策の展開を図るべきである。

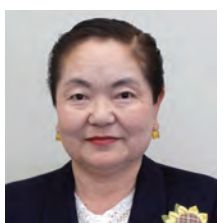
五間 くみ子

人事案件

- 深谷市行政監察員 吉田 俊輔
 - 深谷市公平委員会委員 開山 憲一
 - 深谷市固定資産評価審査委員会委員 中村 文男
 - 深谷市教育委員会教育長 小柳 光春
 - 深谷市教育委員会委員 島崎 祐子
- ※請願・人事案件については敬称略

Q 子ども達のために、小児病院の建設を

A 引き続き、国・県に対し要望しつつ



かとう とし え
 加藤 利江
 映像はこちらから

Q 日赤病院の近辺に小児科の病院の建設を。
 A 小児科医不足の現状等を鑑みると、現時点では市単独での建設は実現が難しいものと考えている。市では、今まで国・県に対し、継続的に小児医療・小児救急医療の充実・強化のための体制整備などの要望を行ってきたが、今後も引き続き要望していく。

―旧中仙道通り商店街の活性化―

Q 毎月縁日を決めて市民に楽しんでもらう。十数年前に今回と同じ質問をしたが、十数年前と現在では深谷市の状況が全然違う。渋沢栄一翁の生涯を大河ドラマで取り上げたり、一万円札の肖像画として取り上げたり、これらを好機と捉え、深谷市の活性化に繋げられるか。
 A 市としても同じ思いであり、これまでの取り組みを踏まえつつ、商



Q 柴崎公園南側の歩道2力所が平らでなく、斜めになっており、車いすなどは、危険なため早急な対応を。
 A 必要な切り下げ部を平らにし、横断防止柵を設置していく。

「『市政のここが聞きたい』の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております。」